

平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

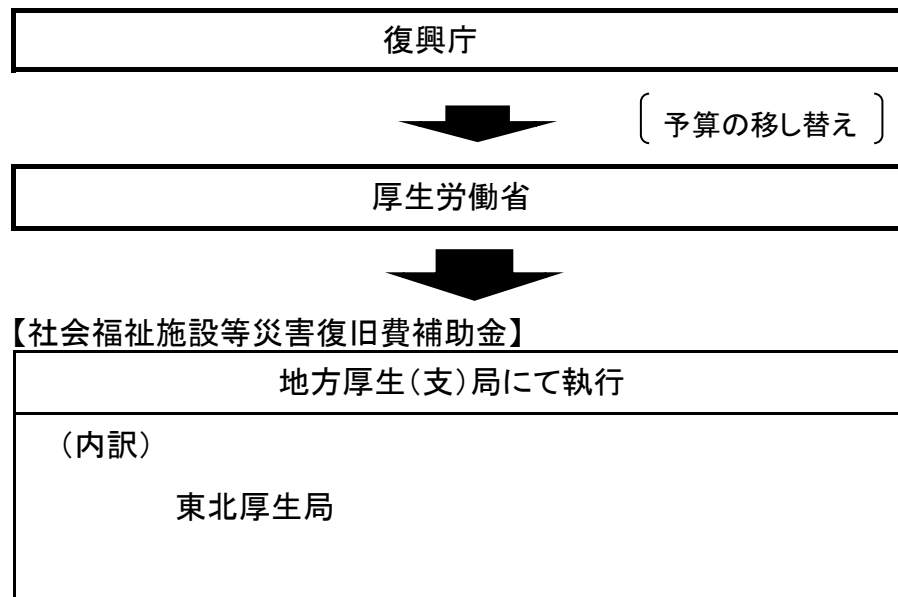
事業名	社会福祉施設等施設整備		担当部局庁	復興庁		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～(未定)		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏			
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	社会福祉施設等災害復旧費の国庫補助について(平成24年11月19日厚生労働省発社援1119第3号厚生労働事務次官通知)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災を受け、被災した障害者施設等の復旧事業について、実地調査を行い被害額を確定した上で、その復旧に要する経費の一部を助成することにより、災害の速やかな復旧を図り、もって施設入所者等の福祉を確保することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災により被災した障害者施設等を復旧しようとする場合、復旧に要する費用の3分の2を補助する。(通常の補助率2分の1から嵩上げ)								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	732	700	700		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	620	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 620	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		-	-	112	1,320	700		
	執行額		-	-	0	-	-		
執行率(%)		-	-	0.0%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)	
	・申請の上がってきた件数に対する個所付けの件数			成果実績	百万円	-	-	2	-
				目標値	百万円	-	-	2	-
				達成度	%	-	-	100%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	復旧施設数			活動実績	件	-	-	2	-
				当初見込み	件	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	平成25年度社会福祉施設等災害復旧費補助金交付決定額(X)÷平成25年度整備件数(Y)			単位当たりコスト	百万円	-	-	310	-
				計算式	X/Y	-	-	620/2	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由					
	工事費	700	700	事業量の見込みが同規模であるため					
計	700	700							

## 事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律に基づき実施。 東日本大震災の教訓を踏まえ、全国防災をすすめる観点から、災害時の備えとして防災拠点スペースや耐震化整備を行うものであり、支援が急務である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	社会福祉施設等災害復旧費については、地方厚生局及び地方財務局における災害査定(現地調査)を行い補助額の確定されるものであり適切に実施されている。なお、必要に応じ内示前に工事を施すことも可。当初の見込みを下回る金額での契約締結のため不用が生じたものの、高水準での達成率となった。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検・改善結果	点検結果	当初予定を下回る金額での締約締結により一部不用は生じているものの、昨年度の執行率よりも大幅に改善されている。依然として沿岸部や旧避難区域等の復旧が遅れている状態にあるため、各自治体からの要望等を踏まえ、引き続き財政支援を行っていくこととしている。			
	改善の方向性	25年度の執行率を見る限り、適正に執行が行われ、被災施設の復旧の促進の支援として有効である。今後も適正な執行管理に努めることが重要。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	被災した障害者施設等の復旧のため、復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き適切な予算執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き適切な予算執行に努めていく。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成23年	-	平成24年	47-2	平成25年	070

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

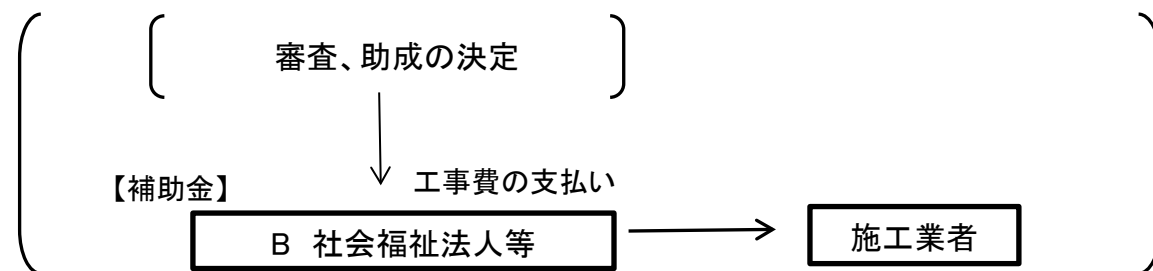
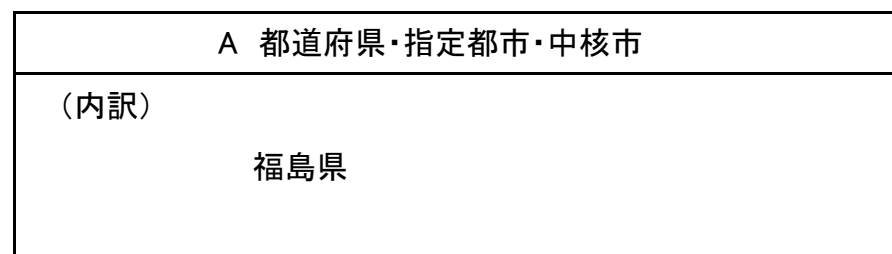
社会福祉施設等災害復旧費補助金



- ・ 災害査定
- ・ 国庫補助内示
- ・ 交付決定
- ・ 交付額の確定



【補助】



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)